



「きょうは

じゅぎょうさんかんです。

ぼくは、おかあさんについての

さくぶんをよみます。

ぼくのおかあさんは、

かみのけをきったり、

パーマをかけたりするびょうしさんです。

えきまえのびょうしつではたらいています。



おかあさんは しごとが おわってから  
じゅぎょうさんかんに きます。  
ぼくが さくぶんを よんでいるときに  
まにあうかどうか しんぱいです。

Acekan

きょうにかぎってすごい——く  
かみのけのながいひとがきて、  
きるのに じかんが かかったりしないでしょうか。



きょうにかぎってと——つても  
かみのけの おおいひとがきて、  
パーマを かけるのに  
じかんが かかったりしないでしょうか。



きょうにかぎって おかあさんに かみのけを  
きってほしいと  
なが——い きょうれつが  
できたりしないでしょうか。



そうしたら さくぶんを よんでいる  
ほくを みせられません。  
だから、ほくは、  
おかあさんの すごいところを たくさん かいで、  
ゆっくり よみたいと おもいます。



lice kan

おかあさんは、やすみのひには、  
ぼくやおとうさんや、いもうとの  
かみのけも きってくれます。



にんげんだけでは なくて、  
いぬのラッキーの かみのけも  
じょうずな きりです。



たぶん うえきを きっても  
すごく うまいと おもいます。





でも、おかあさんは そそっかしいところも あります。

ときどき、ぼくと いもうとと いぬのなまえが こっちゃんになります。

このあいだも ラッキーの さんぽに いったとき、

「そっち いっちゃ だめ、げんきー！」

といって、ラッキーの リードを ひっぱりました。

げんきは、ぼくです。

